

一橋大学大学院
国際企業戦略研究科

金融・経営専攻
金融戦略・経営財務コース(MBA)

平成29年度 入試説明会

実施日：平成28年6月2日(木) 於：学術総合センター2階 一橋講堂

国立大学法人一橋大学大学院国際企業戦略研究科(ICS)



平成29年度入試説明会 プログラム

専門職課程(MBA)

第1部 入試説明会

18:30～20:00

一橋講堂

1. 金融戦略・経営財務コースの概略
2. 入試情報、学生情報
3. 講義内容
4. 教員紹介
5. 在校生の声：頭士奈加子さん(現M2)
6. 卒業生の声：渡邊佑規さん(2013年3月卒業)
： 近江晴美さん(2013年3月卒業)
7. 質疑応答

第2部 懇談会

20:10～20:40

中会議場

教員、在校生、卒業生との懇談会

閉会後に場所を移して懇談会を行います。

希望される方は一橋講堂を出てすぐ左手の中会議場においでください。

懇談を希望する先生が決まっているかたは直接先生のところに、
お迷いの方は在校生、修了生、スタッフにご相談ください。
第1部で登壇した在校生、修了生もご相談を承ります。
先生方の著作、論文、掲載された雑誌などの展示もございますので、
お気軽にお寄り下さい。

■金融戦略・経営財務コースについて

いまや金融業界に限らず、多様な業種において金融知識は不可欠です。ビジネスの高度化やグローバル化が進展する中で、リスクをいかにコントロールするかが問われています。

我が国では確かな金融知識を備えたグローバルリーダーの育成が社会的要請となっています。ICS金融戦略・経営財務コースは、**確かな金融の知識と技術を有した世界で戦えるビジネス・リーダーの育成を目指しています。**

金融戦略・経営財務コースの特徴

◆計量分析と経営実務の融合：三つの特徴

1点目は、さまざまな金融理論をグランド・フレームワークで捉えること。個々の知識をばらばらに学ぶのではなく、全体を俯瞰的に捉える視野を養うことで、個別の事柄に対応できる力を身に付けます。

2点目は、計量分析の能力を徹底的に訓練すること。経済活動には必ず定量的なデータが存在します。データから必要な情報を引き出す分析能力は、あらゆる機会に応用できます。

3点目は経営実務との接点の重視です。どれだけ知識を学んでも、それがビジネスの現場で正しい意思決定に結びつかなければなりません。本コースでは経営の現場で活躍する教員による授業などを通じて、実務に直結した知識を学べます。

ICSの人脈

◆生きた人脈がビジネスの幅を広げる

ICSでは教員自身の研究活動を重視しており、それぞれが高い研究成果をあげています。今も金融業界の第一線で活動しながらICSで教鞭を執る教員もいます。**最先端の金融理論と最先端の実務の両方をカバーできるのが本コースのファカルティーの強み。まさに「世界水準のカリキュラム」を自負しています。**

一橋大学の伝統である少人数ゼミは、学生同士の絆を強めてくれます。ICSには金融や事業会社、官公庁など幅広い分野からさまざまな人材が集います。ここで得た人脈は、修了後のビジネスにもおおいに生かされるはずです。

金融戦略・経営財務コース概要

◆開講時間

平日夜18:20から2コマ、1週間におよそ10コマの授業や演習があります。
土曜日や夏期・春期休業中に、集中講義を行う事もあります。

	月	火	水	木	金	土
昼間	〈勤務時間〉					集中講義 など
夜間	1時限		18:20~19:50			
	2時限		20:00~21:30			

◆修了までの流れ

STEP1: 基礎力の堅固性獲得 【基礎科目群8単位以上履修】
「知識ベース」や「フレームワーク」を修得

STEP2: 専門性の追求 【専門科目群18単位以上履修】
実務上の課題や興味、目的から選択した分野の専門性を高めていく

STEP3: 修士論文指導とゼミ 【演習8単位以上と論文作成】
修士論文(専門職学位論文)作成

◆MBA取得の要件

2年以上在籍かつ34単位以上取得
(講義科目26単位以上、演習8単位以上)

修士論文審査

修了・MBA取得

■平成28年度専門職課程(MBA)学年暦

4月	4月1日(金)	入学式及びガイダンス
	4月2日(土)	チーム・ビルディング
	4月4日(月)	春学期授業開始
	4月4日(月)～15日(金)	春学期履修届・指導教員決定
5月・6月	5月14日(土)、15日(日)、 21日(土)、22日(日)	補講予定日【前半1単位科目】
	5月23日(月)、 5月31日(火)～6月9日(木)	春学期末試験【前半1単位科目】
7月	7月25日(月)～27日(水)、29日(金)	補講予定日【2単位科目】【後半1単位科目】
	7月22日(金)	学位論文提出締切 ※9月修了予定者
8月	8月1日(月)～8月5日(金)	春学期末試験【2単位科目】【後半1単位科目】
	8月6日(土)	夏期休業開始(～9月25日(日))
	夏期休業中(8・9月とも)	集中講義
9月	9月7日(水)	修了者発表 ※9月修了予定者
	9月23日(金)	学位授与式 ※9月修了予定者
	9月24日(土)	創立記念日
	9月25日(日)	夏期休業終了
	9月26日(月)	秋学期授業開始
	9月14日(水)～10月6日(木)	秋学期履修届
11月	11月5日(土)、6日(日)、 12日(土)、13日(日)	補講予定日【前半1単位科目】
	11月15日(火)～11月24日(木)	秋学期末試験【前半1単位科目】
12月	12月26日(月)	修士論文プレ報告会
	12月27日(火)	冬期休業開始(～1月3日(火))
1月・2月	1月26日(木)～1月30日(月)	補講予定日【2単位科目】【後半1単位科目】
	1月29日(金)	学位論文提出締切日
	1月31日(火)～2月6日(月)	秋学期末試験・学年末試験 【2単位科目】【後半1単位科目】
	2月7日(火)	春期休業開始(～3月31日(金))
3月	春期休業中	集中講義
	3月13日(月)	修了者発表
	3月15日(水)	優秀修士論文発表会
	3月23日(木)	学位授与式
	3月31日(金)	春期休業終了

■平成28年度専門職課程(MBA)開講科目

科目群	講義科目名	単位数	開講学期	担当教員名	備考
入門科目	金融数理入門	1	春	力丸 佑紀	
	線形モデル入門	1	春	青木 義充	
	金融リスク計量入門	1	春	中川 秀敏	
	時系列分析入門	1		青木 義充	集中講義 ※8~9月実施
基礎科目	会計・バリュエーションの基礎	2	春	野間 幹晴	
	コーポレート・ファイナンスの基礎	2	秋	鈴木 健嗣	
	ファイナンス理論の基礎	2	春	本多 俊毅	
	ファイナンス理論	2	秋	大橋 和彦	
	金融データ分析の基礎	2	春	横内 大介	
	コンピューショナル・ファイナンス	2	春	中村 信弘	
	金融数理の基礎	2	秋	中川 秀敏	
専門科目	コーポレート・ファイナンスに関する諸問題	1	春	鈴木 健嗣	
	(英)国際財務管理	1	春	伊藤 彰敏	
	(英)コーポレート・ファイナンス(ケーススタディ)	1	春	伊藤 彰敏	
	コーポレート・ガバナンス	1		松田 千恵子	集中講義 ※8月実施
	企業税務の実務と実証研究	2		金子 尽久 大沼 宏	集中講義 ※8~9月実施
	アントレプレナー・ファイナンス	2	春	山本 一彦	
	M&A実践論I	1	春	佐山 展生	
	M&A実践論II	1	春	佐山 展生	
	M&Aと事業再生の実践I	1	春	KPMG FAS寄附講義	
	M&Aと事業再生の実践II	1	秋	KPMG FAS寄附講義	
	企業価値向上論I	1	秋	佐山 展生	
	企業価値向上論II	1	秋	佐山 展生	
	金融機関経営論	2	春	土岐 大介	
	ファイナンスに関する諸問題	1	春	本多 俊毅	
	ポートフォリオ投資論	2	秋	本多 俊毅	
	投資戦略論	2	秋	中村 信弘	
	金融経済学(情報とインセンティブ)	1	春	大橋 和彦	
	エナジー・ファイナンス	1	春	大橋 和彦	
	資産価格の実証分析	2	春	祝迫 得夫	
	ファイナンシャル・リスク・マネジメント	2	春	中川 秀敏	
	金融データ分析	2	秋	宮川 大介	
	統計科学の数理(回帰分析)	1	秋	大上 慎吾	
	統計科学の数理(推定手法・モデル選択)	1	秋	大上 慎吾	
	金融データの時系列分析	1		沖本 竜義	集中講義 ※9月実施
	ベイズ統計学(MCMC法)	1	秋	青木 義充	
	マネジリアル・エコノミクス	1	春	宮川 大介	
	マネタリー・エコノミクス	1	春	宮川 大介	
	行動経済学	1	秋	山口 勝業	
	グローバル・リーダーシップ	2	秋	福原 正大	
	経営における職業倫理	1	秋	山口 勝業	
	FinTechとイノベーション	1	秋	野間 幹晴	
	博士後期 課程科目	資産価格理論	1	春	大橋 和彦
金融市場の計量ファイナンス		1	春	中村 信弘	
コーポレート・ファイナンスの実証分析 I		1	春	伊藤 彰敏	
コーポレート・ファイナンスの実証分析 II		1	春	鈴木 健嗣	

※修了要件:

①合計34単位以上を取得(基礎科目から8単位以上、講義科目から18単位以上、ゼミ8単位以上)

②専門職学位論文に合格

※開講科目は毎年見直されており、こちらに掲載されている科目が来年度も開講されるとは限りません。

また、こちらにはない科目が新設される可能性もあります。

■ 各種制度・設備について

教育訓練給付金

平成26年10月指定で、専門実践教育訓練指定講座となっています。

受給資格などにつきましては厚生労働省のHPでご確認ください。

＜厚生労働省：教育訓練給付制度について＞

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/shokugyounouryoku/ca-reer_formation/kyouiku/index.html

※給付金は、今後、変更される可能性があります。

現在は、受給資格のある方が入学前に所定の手続きを完了し、条件を満たせば

初年度は上限32万円が給付されます。

休学制度

半年単位で、通算2年まで休学できます。

期間内に所定の手続きを踏めば、休学期間中の学費は免除されます。

図書館

千代田キャンパス内5階の図書館は1万冊を超える図書と270種の雑誌を備えています
また、同様に国立キャンパスの図書館も利用できます。

2週間、30冊(国立キャンパスからの取り寄せ含む)まで

「一橋大学蔵書検索HERMES」を利用して予約、取り寄せ可能です。

利用可能データベース

千代田キャンパス内8階の「金融戦略・経営財務コースデータベース室」では下記のデータを備えています。(使用許可が必要なものを含みます)

- QUICK Astra Manager(日本上場企業の財務データ+株価データ)
- Bloomberg
- SPEEDA
- トムソンロイター Datastream
- S&P Capital IQ
- イボットソン・モーニングスター提供 ファンド関連データ
- レコフ社 MARR (M&A関連DB)
- FDS提供 日次・月次日本株式リターン・データ&財務データ

◆ 選考概要

「専門職学位課程」は、年2回の募集(秋期と冬期)を行います。募集人員は合わせて41名とします。

秋期募集	
■ 出願期間	平成28年9月23日(金)～9月30日(金)※9月30日消印有効
■ 第1次試験(書類審査)可否結果	平成28年10月24日(月)以降通知
■ 第2次試験(口述試験)	平成28年11月1日(火)～11月5日(土)
■ 合格発表	平成28年11月18日(金)

冬期募集	
■ 出願期間	平成29年1月4日(水)～1月10日(火) ※1月10日消印有効
■ 第1次試験(書類審査)可否結果	平成29年1月20日(金)以降通知
■ 第2次試験(口述試験)	平成29年1月30日(月)～2月1日(水)
■ 合格発表	平成29年2月16日(木)

※詳細は本コースホームページ又は募集要項をご覧ください。

◆ 募集の流れ

本専攻の授業は、一橋大学大学院国際企業戦略研究科において、平日夜間・土曜に行います。専門職学位課程の授業は、教育訓練給付金の支給対象となる指定講座です。

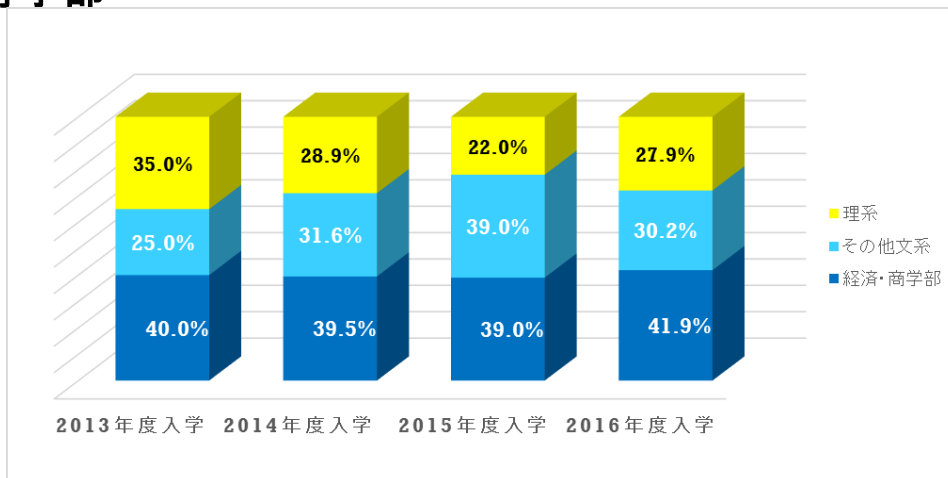
定員	専門職学位課程:41名
入学資格	入学時点において、企業・官公庁等における原則2年以上の実務経験を有する者で、※諸条件のいずれかに該当する者。 ※詳細につきましては、募集要項にてご確認ください。
修了要件	2年以上在学し、講義科目26単位以上、演習8単位以上、合計34単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、本研究科が行う専門職学位論文の審査及び最終試験に合格しなければならない。
授与学位	専門職学位課程修了者には、「経営修士(専門職)」「金融戦略・経営財務MBA」の学位が授与されます。

◆ 応募状況(過去4年間)

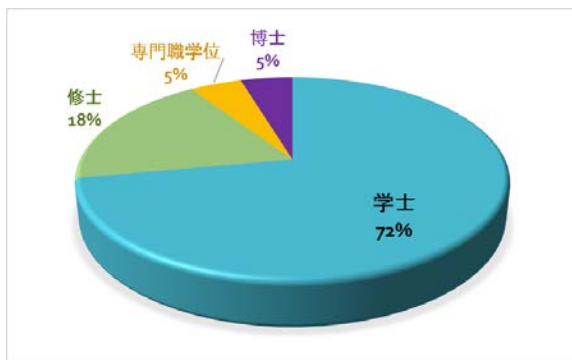
	2013		2014		2015		2016	
	秋期	冬期	秋期	冬期	秋期	冬期	秋期	冬期
受験者数	45	13	38	16	56	30	88	23
合格者数	33	8	26	15	36	7	35	9
倍率	1.36	1.63	1.46	1.07	1.56	4.29	2.51	2.56

金融戦略・経営財務コース入学生の属性

◆ 出身学部



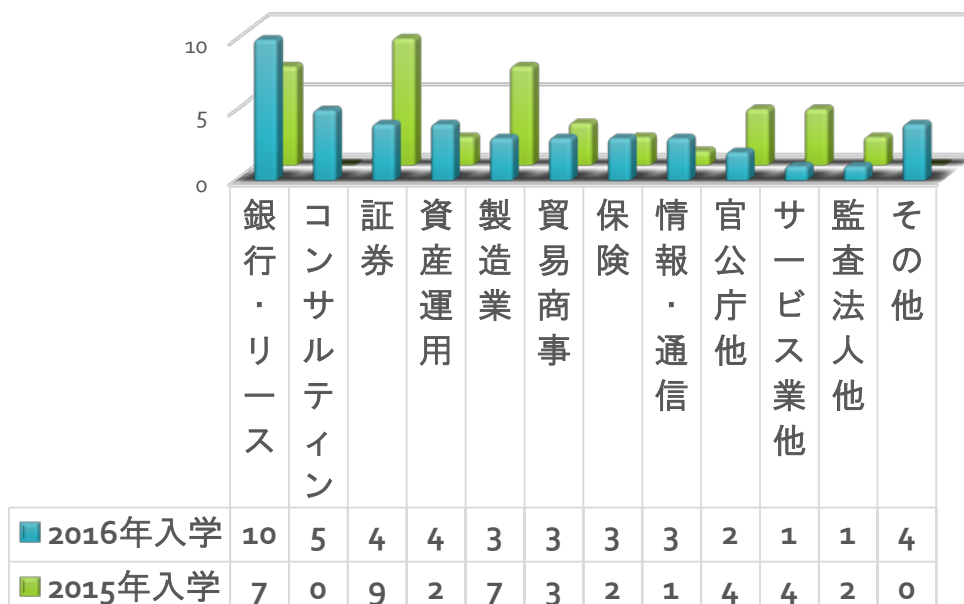
◆ 入学時点の取得済み学位



◆ 入学者平均年齢

2014年入学	33.8歳
2015年入学	34.1歳
2016年入学	33.5歳

◆ 入学時点の業種

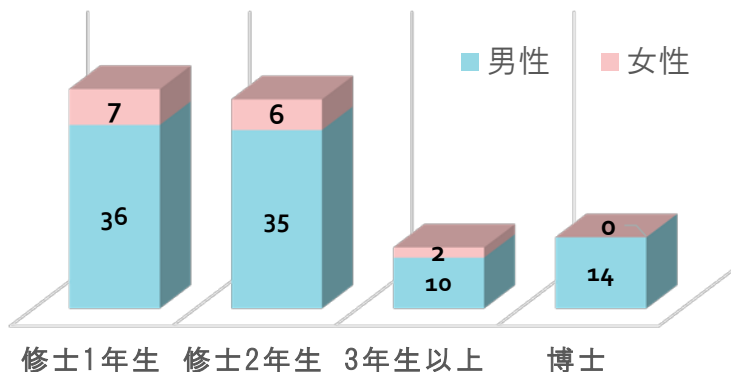


■その他の在校生情報

① 2016年度在校生数

※2016年5月1日現在

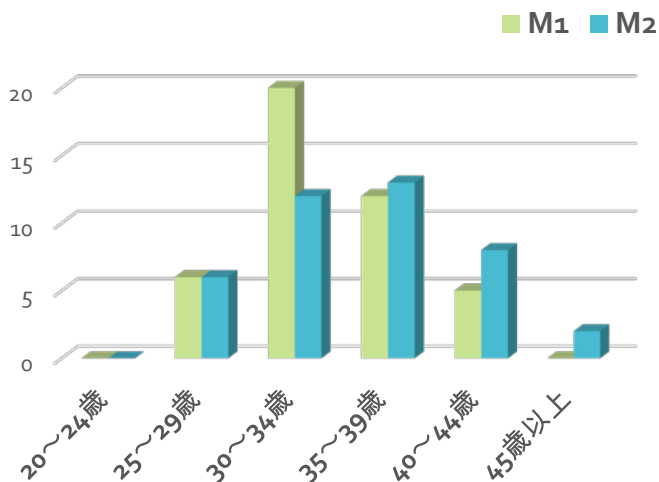
	男性	女性	計
修士1年生	36	7	43
修士2年生	35	6	41
3年生以上	10	2	12
博士	14	0	14
計	95	15	110



② 修士1年生(M1)、2年生(M2)の年齢

※201565月1日現在

	M1	M2
20～24歳	0	0
25～29歳	6	6
30～34歳	20	12
35～39歳	12	13
40～44歳	5	8
45歳以上	0	2



③ 修了するまでにかかった年数(過去4年)

	2年	2年半および3年	3年半以上	在学中
2011年度入学生	32	2	1	1
2012年度入学生	33	2	3	1
2013年度入学生	30	5		4
2014年度入学生	30			6

■平成28年度に開講される授業科目の位置づけ

三つの「金融」科目群

<コーポレート・ファイナンス、会計>

会計・バリュエーションの基礎
 コーポレートファイナンスの基礎
 コーポレート・ファイナンスに関する諸問題◎
 コーポレート・ファイナンス(ケーススタディ)(英)◎
 国際財務管理(英)◎
 コーポレート・ガバナンス
 企業税務の実務と実証研究
 金融機関経営論◎

<投資、金融経済学>

ファイナンス理論の基礎
 ファイナンス理論
 ファイナンスに関する諸問題◎
 ポートフォリオ投資論
 投資戦略論
 金融経済学(情報とインセンティブ)◎
 エナジーファイナンス◎
 資産価格の実証分析◎

<リスク管理、金融工学>

金融数理入門[入門科目]
 金融数理の基礎
 コンピュータショナル・ファイナンス
 金融リスク計量入門[入門科目]
 ファイナンシャル・リスク・マネジメント◎

博士課程科目

<コーポレート・ファイナンス、会計>
 コーポレート・ファイナンスの実証分析 I
 コーポレート・ファイナンスの実証分析 II

<投資、金融経済学>
 資産価格理論
 金融市場の計量ファイナンス

下線は基礎科目、◎はM2推奨

M&A関連科目、データ分析、Econ+ α

<M&A関連科目>

M&A実践論 I & II
 M&Aと事業再生の実践 I & II
 企業価値向上論 I & II

<統計学、データ分析>

線形モデル入門[入門科目]
 金融データ分析の基礎
 金融データ分析
 統計学の数理(回帰分析)
 統計学の数理(推定手法・モデル選択)
 時系列分析入門[入門科目]
 金融データの時系列分析
 ベイズ統計学

<Economics+ α >

ビジネス・エコノミクス
 マネタリー・エコノミクス
 行動経済学
 FinTechとイノベーション
 アントレプレナー・ファイナンス◎
 グローバル・リーダーシップ
 経営における職業倫理

下線は基礎科目、◎はM2推奨

履修モデル(春学期)

Note: ★は1単位前半、★★は1単位後半

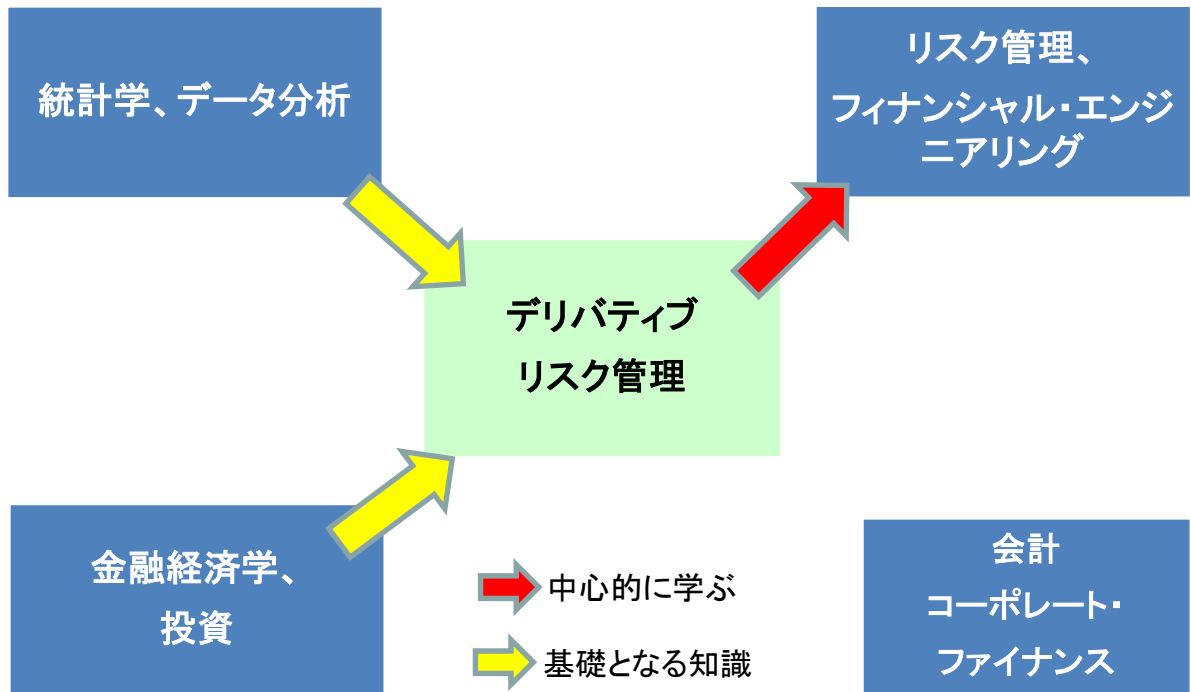
	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
春学期					
一時間	<p>コンピュータショナル・ファイナンス 中村 2単位</p> <p>M&A実践論 I 佐山 1単位★</p> <p>(博)資産価格理論 大橋 1単位★</p>	<p>金融数理入門 カ丸(横内代講) 1単位★</p> <p>(英)国際財務管理 伊藤 1単位★</p> <p>(英)コーポレート・ファイナンス(ケーススタディ) Visiting教員(M2想定) 1単位★</p>	<p>ファイナンスに関する諸問題 本多(M2想定) 1単位★</p> <p>会計・バリュエーションの基礎 野間 2単位</p> <p>コーポレート・ファイナンスに関する諸問題 鈴木(M2想定) 1単位★</p>	<p>金融データ分析の基礎 横内 2単位</p> <p>金融機関経営論 土岐(M2想定) 2単位</p> <p>M&Aと事業再生の実践 I 鈴木・宮川 1単位★★</p>	
二時間	<p>アントレプレナー・ファイナンス 山本 2単位</p> <p>フィナンシャル・リスク・マネジメント 中川 2単位</p>	<p>ファイナンス理論の基礎 本多 2単位</p> <p>(博)金融市場の計量ファイナンス 中村 1単位★</p> <p>(博)コーポレート・ファイナンスの実証分析 I 伊藤 1単位★</p> <p>(博)コーポレート・ファイナンスの実証分析 II 鈴木 1単位★</p>	<p>マネタリー・エコノミクス 宮川 1単位★★</p>	<p>資産価格の実証分析 祝追(M2想定) 2単位</p> <p>マネジリアル・エコノミクス 宮川 1単位★</p>	
土曜日	<p>線形モデル入門 青木(横内代講) 1単位★PM</p> <p>エナジー・ファイナンス 大橋(M2想定) 1単位★PM</p>	<p><集中講義> 企業税務の実務と実証研究 金子・大沼 2単位 8月29日、30日、31日、9月2日、5日、7日、9日</p> <p>金融データの時系列分析 沖本 1単位 9月5日、6日、7日、9日</p> <p>時系列分析入門 青木 1単位 8月29日、30日、31日、9月1日</p> <p>コーポレート・ガバナンス 松田 9月土曜日(集中講義形式)</p>			

履修モデル(秋学期)

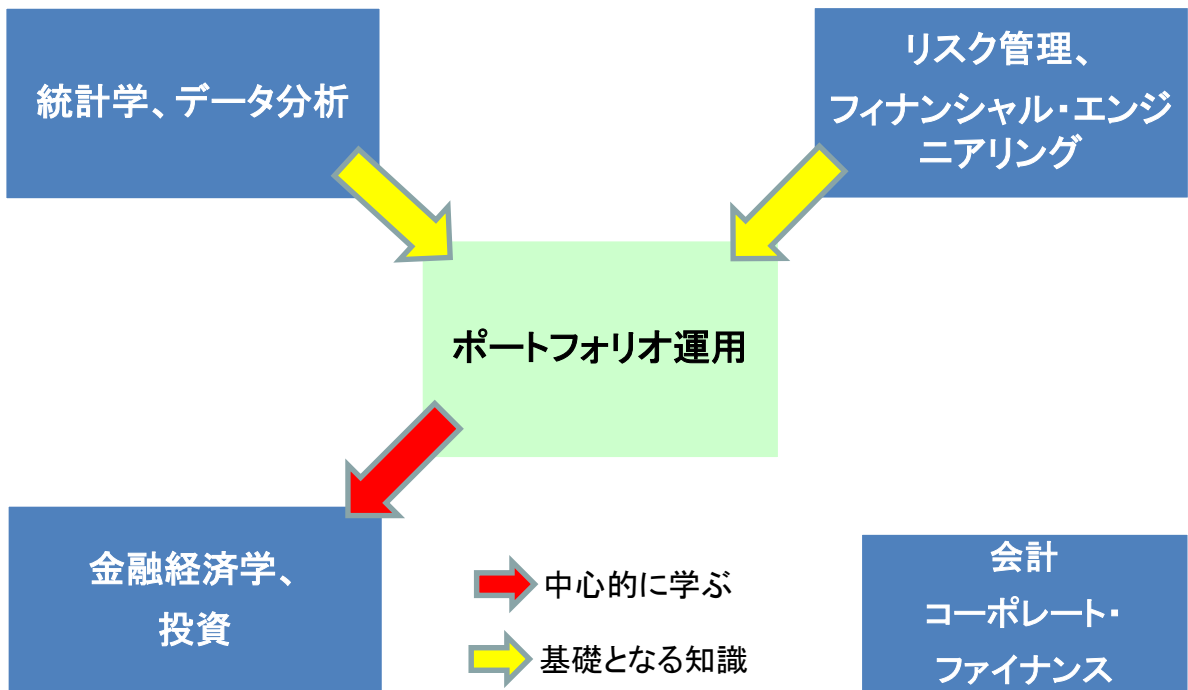
Note: ★は1単位前半、★★は1単位後半

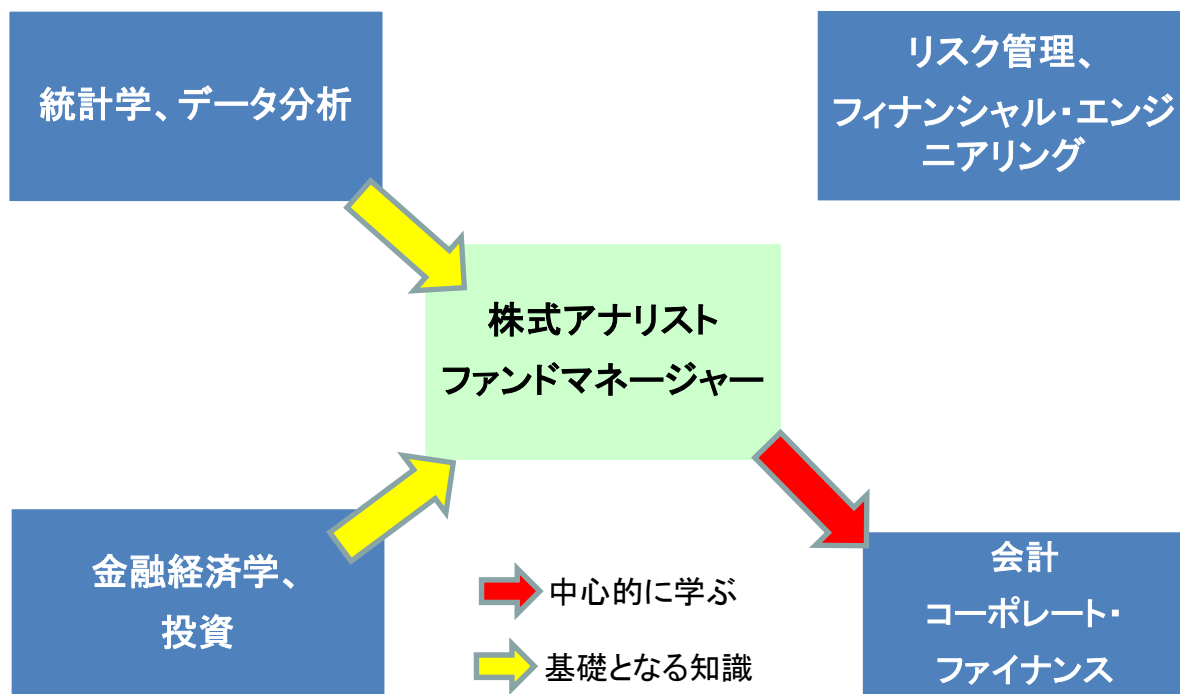
	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
秋学期				
一時間	<p>金融数理の基礎 中川 2単位</p> <p>企業価値向上論 I 佐山 1単位★</p> <p>企業価値向上論 II 佐山 1単位★★</p>	<p>M&Aと事業再生の実践 II 鈴木・宮川 1単位★</p> <p>FinTechとイノベーション 野間 1単位★★</p>	<p>金融データ分析 宮川 2単位</p>	<p>コーポレート・ファイナンスの基礎 鈴木 2単位</p>
二時間	<p>グローバル・リーダーシップ 福原(経営財務系M1想定) 2単位</p> <p>統計科学の数理(回帰分析) 大上(計量系M1想定) 1単位★</p> <p>統計科学の数理(推定手法・モデル選択) 大上(計量系M1想定) 1単位★★</p>	<p>ポートフォリオ投資論 本多 2単位</p>	<p>ファイナンス理論 大橋 2単位</p>	<p>経営における職業倫理 山口 1単位★</p> <p>行動経済学 山口 1単位★★</p> <p>投資戦略論 中村 2単位</p>
土曜日	<p>ベイズ統計学 青木 1単位★★PM</p>			

デリバティブ・プライシングやリスク管理を中心に勉強したい場合

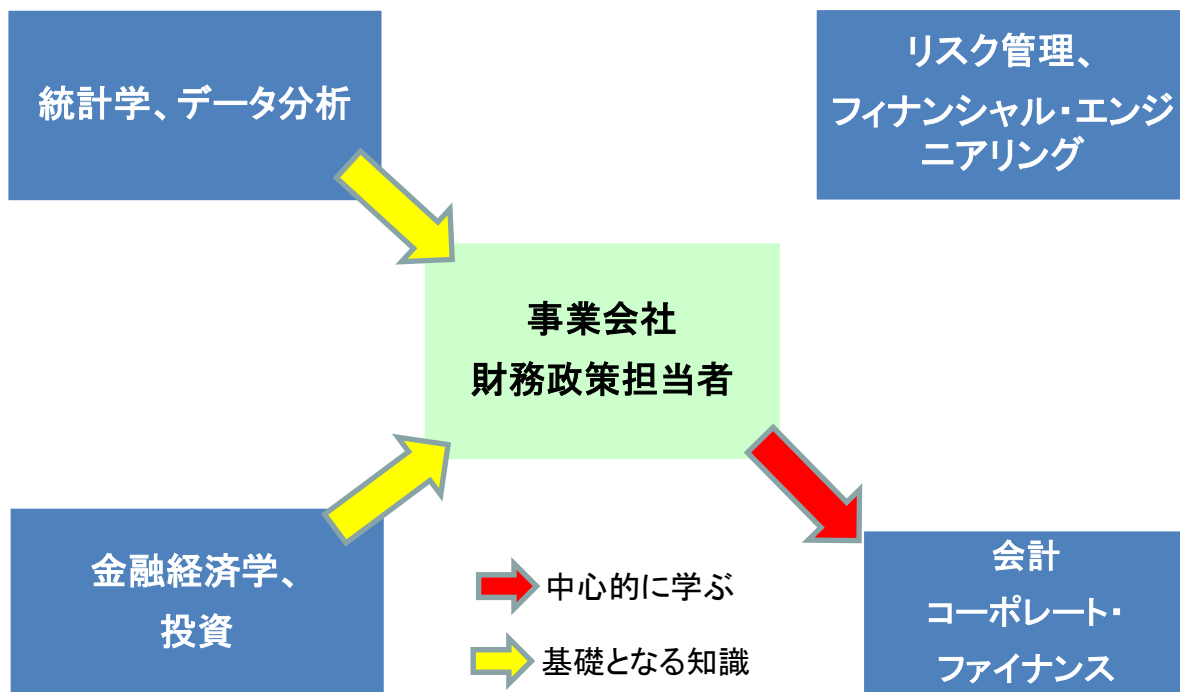


ポートフォリオ運用を中心に勉強したい場合

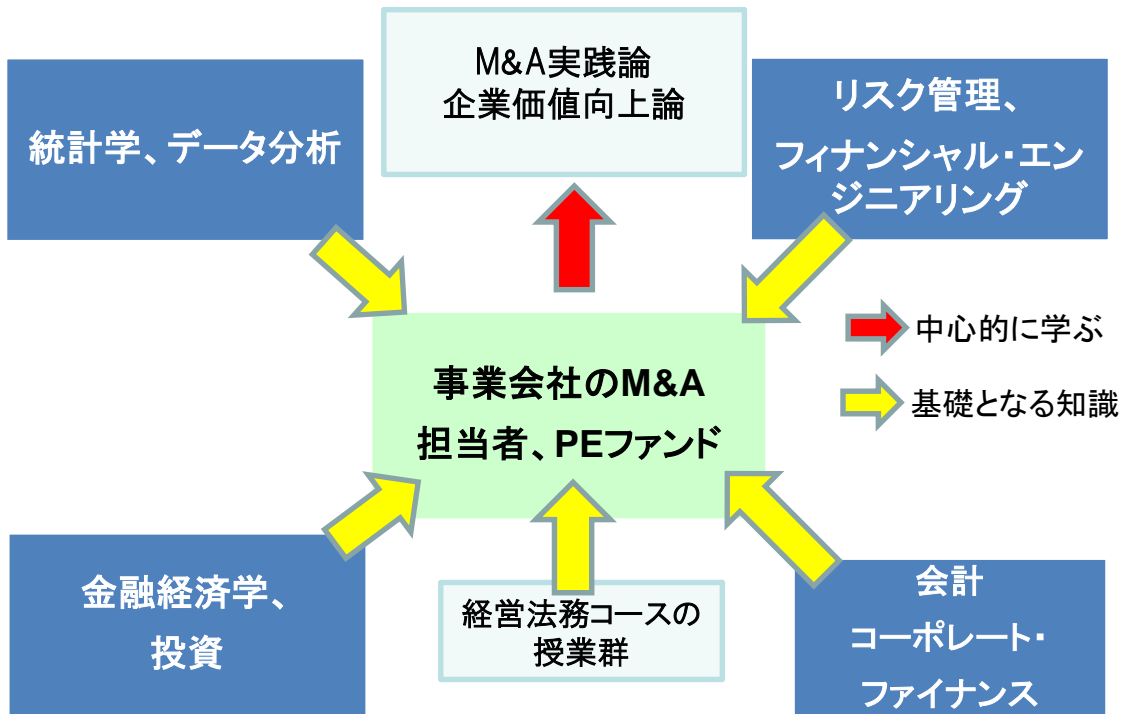




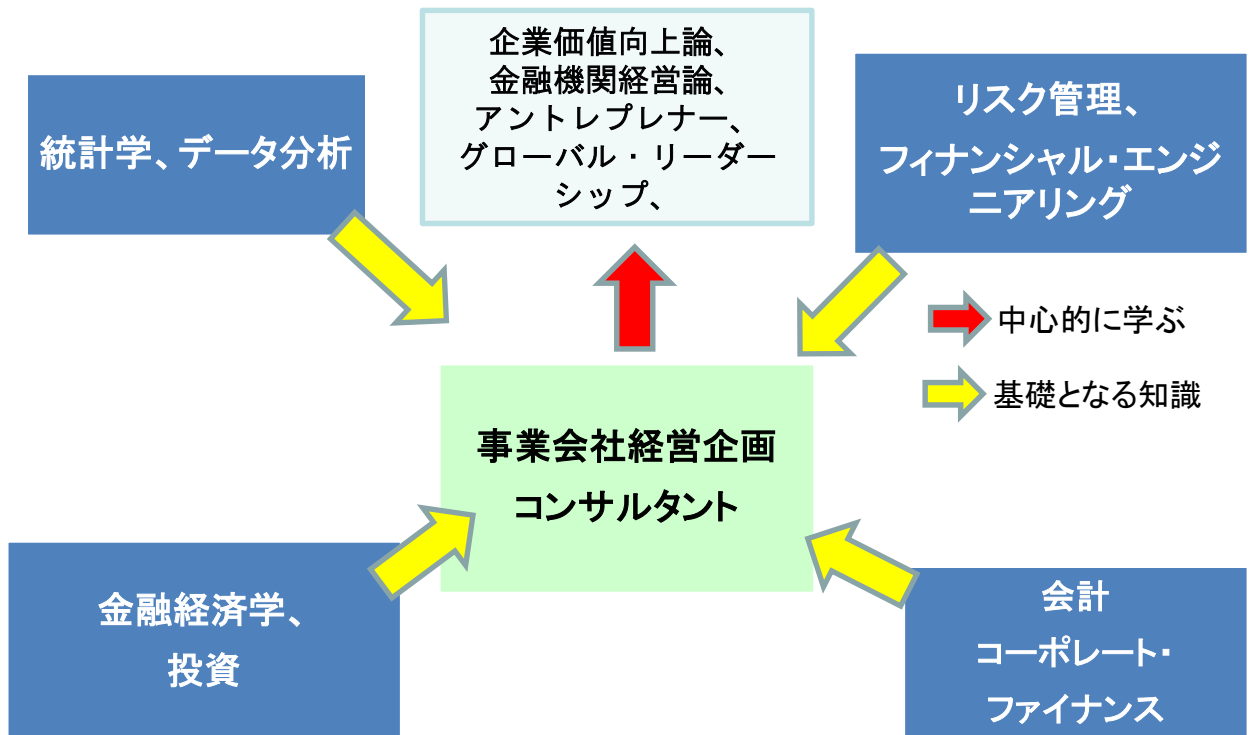
企業の財務政策を中心に勉強したい場合



M&A戦略、事業再生を中心に勉強したい場合



金融を手掛かりに企業経営を考えたい



■金融戦略・経営財務コース 修士論文題目

■平成27年度（9月およびH28年3月卒業）

<伊藤ゼミ>
◆ 外国為替市場におけるモーメント・リスクプレミアムに関する考察
◇ 広告宣伝費の投資的意義
◇ 経営統合企業におけるコーポレート・ガバナンスの変化と企業価値
◇ M&A実行の誘因とM&A実績評価に関する実証分析
◇ 成長階段にある企業における取締役会構成の決定要因と企業価値の関係について
◇ 日本企業による海外進出形態の選択要因に関する考察
◇ Exchange Rate Movements and Cross-border Mergers and Acquisitions
◇ 動学的確率的一般均衡モデルによるゼロ金利制約下の財政政策の効果分析
◇ ディザスターリスクプレミアムを用いた通貨キャリー戦略の検討
◇ 日本企業の買収防衛策導入と設備及び研究開発投資の係数に関する実証研究
◇ ベトナムの上場企業における株式所有構造と企業価値との関係にかかる考察
<大橋ゼミ>
◆ 海外進出が企業パフォーマンスに及ぼす影響：本邦製造業企業のアジア展開における実証分析
◆ Intradayにおける日米主要Index価格発見に対するETFの影響に関する考察
◇ 気象データを用いた卸電力取引価格の実証分析
◇ CDSプレミアムの変動要因のパネルデータ分析 An Empirical Panel data Analysis of the Determinants of CDS Premium
◇ 日本企業による中国企業M&Aの市場評価—イベント・スタディによる分析—
◇ 経営者持株と企業パフォーマンスの実証研究
<本多ゼミ>
◇ 流動性が投資信託のパフォーマンスに与える影響について
◇ リターンの予測可能性と取引コストを考慮した動的なポートフォリオ選択問題
◇ 日本における公共料金プライスキャップ制度導入に向けたオプション理論適用による水道料金上限価格の推定
◇ 好業績を長期間維持する企業は存在するか—日本企業の持続的競争優位性の考察—
<野間ゼミ>
◇ 多角化企業の企業価値に与える影響—雇用およびコーポレート・ガバナンス—
◇ 日本企業のコーポレートガバナンス—銀行、投資家、監査法人のモニタリングに関する実証研究—
◇ 日本企業における社長の経歴が財務戦略・成果に与える影響
◇ 長期的な視点で行動する企業とは—日本企業の投資と経営者予想の関係—
◇ 我が国多国籍企業の連結実効税率が高い要因の分析—日米損益、法定実効税率及び為替変動による影響の検証—
◇ M&Aにおける銀行のガバナンス効果
◇ 女性取締役導入の決定要因と企業業績に関する実証分析
◇ 経営者インセンティブと利益調整に関する実証分析
<宮川ゼミ>
◇ Determinants of households' risky asset holdings: Evidence from Korean household-level panel data
<中村ゼミ>
◆ 日米市場における分散リスクプレミアムの市場超過リターン予測可能性
◇ 2*確率金利モデルによる債券アービトラージ戦略
◇ 国内社債市場における社債スプレッドの変動要因分析—構造型モデルの有用性と個別企業の収益性・成長性について—
◇ レバレッジ型指数デリバティブについて：拡大と反転のデリバティブ
◇ 高頻度データによるFama-French 3ファクターモデル構築と投資戦略
<中川ゼミ>
◆ ヴァインコピュラを用いた市場リスクと信用リスクの合算方法に関する研究
◆ 一般化線形混合モデルによる格付推移モデルのベイズ推定～日本の格付推移データによる実証分析～
◇ CoCo債のスプレッド説明要因の実証分析—Implied CET1 Volatilityを用いたアプローチ
◇ リスクカテゴリー間の依存構造に不確実性がある場合のリスク量の統合について～Rearrangementアルゴリズムとその拡張の適用～
<横内ゼミ>
◇ ラック&パッドラックモデルおよびクラスター分析を用いた日本株投信パフォーマンス実証分析

◆印の論文の発表資料は、本コースHPIにてご覧いただけます。

URL: http://www.fs.ics.hit-u.ac.jp/mba_course/thesis.html

■平成28年度専門職学位課程(MBA) 教員紹介

教授	伊藤 彰敏	(コーポレート・ファイナンス)	専任 ★
	大橋 和彦	(資産価格分析、金融契約論)	専任 ★
	佐山 展生	(M&A、バイアウト)	専任 ★
	中村 信弘	(投資戦略、金利・債券市場分析)	専任 ★
	本多 俊毅	(資産価格理論、証券投資・ポートフォリオ)	専任 ★
	祝迫 得夫	本学経済研究所所属	
准教授	鈴木 健嗣	(コーポレートファイナンス, 経営財務)	専任 ★
	中川 秀敏	(金融リスクのモデル化)	専任 ★
	野間 幹晴	(アカウンティング、企業価値評価)	専任 ★
	宮川 大介	(金融仲介、企業ダイナミクス、債券・不動産市場)	専任 ★
	横内 大介	(データサイエンス、計量ファイナンス)	専任 ★
	大上 慎吾	本研究科国際経営戦略コース所属	
特任教授	福原 正大	Institution for a Global Society株式会社 代表取締役社長	
客員教授	土岐 大介	ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長	
客員准教授	沖本 竜義	Crawford School of Public Policy, Australian National University	
非常勤講師	青木 義充	株式会社QUICK サービスプロダクト本部 次長	
	大沼 宏	東京理科大学経営学部 准教授	
	金子 尽久	KPMG税理士法人 パートナー	
	松田 千恵子	首都大学東京社会科学部研究科(大学院)教授・都市教養学部教授	
	山口 勝業	イポットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社 取締役会長	
	山本 一彦	クラシック・キャピタル・コーポレーション 代表取締役 チーフ・エグゼクティブ・パートナー	
	力丸 佑紀	早稲田大学 国際教養学部 統計学助手	

※1. ★印は平成28年度の専門職学位課程の演習担当教員を示します。

※2. 上記情報は、平成28年6月1日現在のものとなります。



一橋大学
HITOTSUBASHI UNIVERSITY

本コースに関する最新情報については、ホームページをご覧ください

URL: <http://www.fs.ics.hit-u.ac.jp/>



最寄駅からの交通案内

東京メトロ東西線 竹橋駅1B出口より徒歩4分
東京メトロ半蔵門線・都営三田線・都営新宿線
神保町駅A9出口より徒歩3分

本コースに関するお問合せはics-info@ics.hit-u.ac.jpまでお願いいたします。

2016年6月発行

【発行・製作】一橋大学大学院国際企業戦略研究科 金融戦略・経営財務コース
☎101-8439 東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター内